届出事業者名：中部電力ミライズ株式会社
届出年度：令和５年度

再生可能エネルギー等供給拡大計画

（別紙２）

（１）小売電気に係るキロワット時当たりの温室効果ガスの量の低減を図るための対策の計画及び目標

対策の計画	・中部電力グループでは、安全の確保と地域の信頼を最優先に原子力発電の活用に取り組むこと、非効率石炭火力電源の調達を見直すとともに、高効率火力電源を活用すること、再生可能エネルギーの開発を促進することなど、総合的な取り組みを続けることで、温室効果ガスの量の低減に取り組んでまいります。 ・中部電力グループとして、2030年度において2013年度比▲50%の二酸化炭素排出量の削減を目標として掲げています。

		当年度の計画	次年度の計画	2030年度の計画
目標	基礎排出係数 (kg-CO2/kWh)	極力低減	極力低減	極力低減
	調整後排出係数 (kg-CO2/kWh)	極力低減	極力低減	極力低減

（２）小売電気の供給の量に対する再生可能エネルギーの供給の量の割合の拡大を図るための対策の計画及び目標

対策の計画	・中部電力グループは、引き続き、再生可能エネルギーの普及拡大に向けて、コストダウンに努めつつ、他事業者との連携も視野に入れて積極的に開発を行ってまいります。 ・固定価格買取制度（FIT制度）の買取期間満了を迎えるお客さま向けの買取サービスや、お客さまの店舗や工場等の屋根をお借りし太陽光発電による電気をご利用いただける「オンサイトPPAサービス太陽光の自家消費サービス」やお客さま敷地外の専用発電所から電力系統設備を介して再エネをお届けする「オフサイトPPAサービス」等の低炭素に繋がる新しいサービスを提供してまいります。 ・脱炭素社会の実現向け、お客さまのニーズに寄り添ったCO2フリーメニュー等の地産地消サービス等、新しいサービスを提供してまいります。

			当年度の計画	次年度の計画	2030年度の計画
目標	非化石証書(再エネ)等利用率（%）		極力活用	極力活用	極力活用
	電源構成比率（%）	再エネ電源(非FIT電源)	極力活用	極力活用	極力活用
		再エネ電源(FIT電源)	極力活用	極力活用	極力活用
		上記以外の電源	極力低減	極力低減	極力低減

当年度における再エネメニューの提供の状況	提供済み

	再エネメニューの名称	ホームページのURL	再エネ率(%)	供給可能な電圧の種類				再エネメニューの特徴(50字以内)
				家庭向け	事業者向け			
				低圧	低圧	高圧	特別高圧	
当年度において提供する再エネメニューの情報 ※公表を希望する場合のみ記入								